

兵庫県水産技術センターだより

漁場環境情報（速報値）SG-GJ-0407号

2022. 7. 7 発行

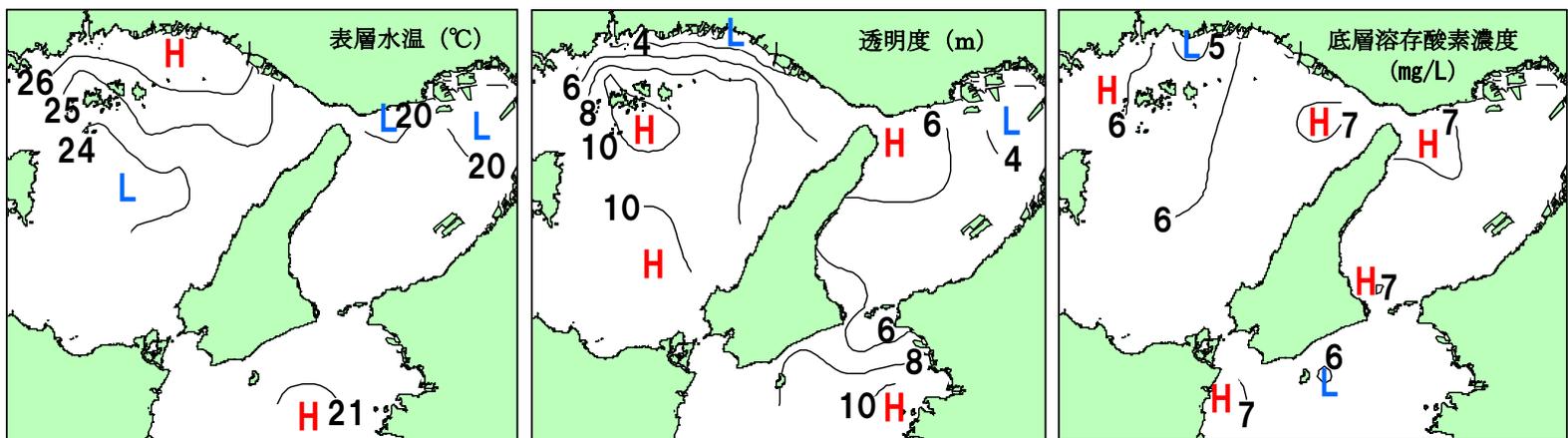
【概況（2022年7月4、5日の調査結果）】

播磨灘の水温は平年に比べ、表層では+1.8℃、10m層で+2.1℃、底層で+1.5℃となっており、表層で「かなり高め」、10m層及び底層で「はなはだ高め」の値となっています。塩分は表層および底層で平年に比べ「やや高め」、10m層で平年に比べ「かなり高め」の値です。透明度は「平年並み」の値となっています。表層の栄養塩濃度は、窒素は平年に比べ「やや低め」、リンは「平年並み」、ケイ酸は「平年並み」の値です。

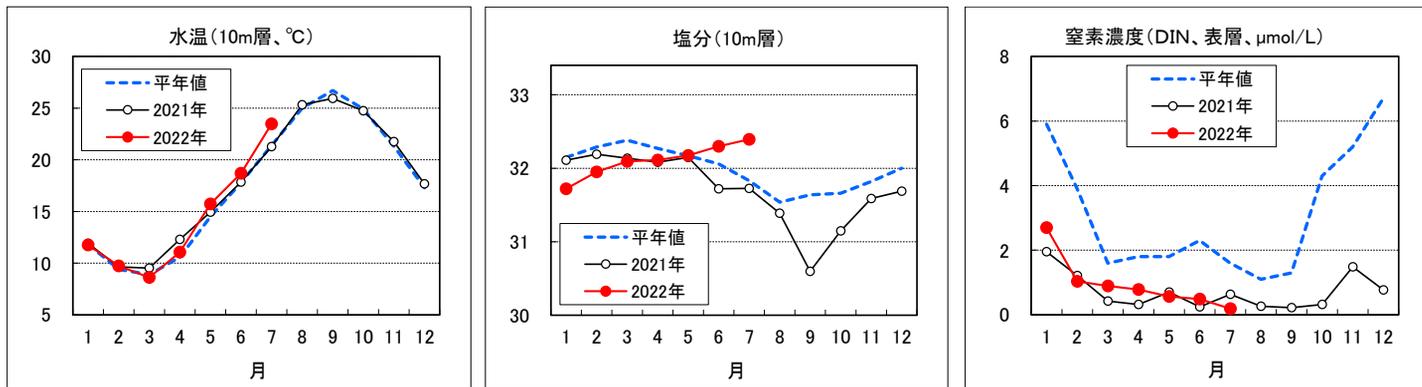
北部の沿岸に近い定点ではスケルトネマやキートセロス等の小型珪藻が多く発生しています。それ以外の灘中部から南部にかけての海域では植物プランクトンの発生量は少なくなっています。北部沿岸の一部の海域では、有害赤潮プランクトンのシャトネラ・アンティカおよびマリナーナの細胞密度が、注意を要する密度を上回っている地域があります。海色の変化にはご注意ください。

2022年6月30日に大阪管区気象台が発表した近畿地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は高い確率が50%、降水量は平年並みか少ない確率が40%、日照時間は平年並みか多い確率が40%の見込みで、今後の表層水温は高めで推移すると考えられます。

播磨灘の水温は、全ての層において高めで推移しています。赤潮が発生しやすい時期を迎えていますので、海色の変化にはご注意ください。



表層水温、透明度及び底層溶存酸素量の分布（大阪湾、紀伊水道は6/14,15の調査結果）
(H: 高い、L: 低い)



播磨灘15定点における主要項目の平均値及び平年値（19定点のうち、北部沿岸の4定点を除く）

年月	2021	2022
項目	7月	1月
水温 ℃	観測値 21.3 平年値 21.4	観測値 11.8 平年値 11.8
塩分	観測値 31.73 平年値 31.83	観測値 31.72 平年値 32.15
透明度 m	観測値 8.5 平年値 8.0	観測値 6.8 平年値 7.3
窒素 μmol/L	観測値 0.6 平年値 1.6	観測値 2.7 平年値 5.9
リン酸 μmol/L	観測値 0.19 平年値 0.15	観測値 0.54 平年値 0.61
クロロフィルa μg/L	観測値 2.2 平年値 3.1	観測値 2.9 平年値 1.8
降水量 姫路mm	観測値 204.0 平年値 184.3	観測値 10.0 平年値 36.9

注) 何れの項目も15定点の平均値。水温、塩分は10m層、他の項目は表層水の値。降水量は気象庁データから引用。各項目の平年値は1991～2020年の平均値。次号は2022年8月4日頃発行予定。

お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター（担当：水産環境部・肥後翔太、妹背秀和）

Tel : 078-941-8601 Fax : 078-941-8604 E-mail : Nouringc_suisan@pref.hyogo.lg.jp Homepage : https://www.hyogo-suigi.jp/